



JICAブースの様子



第32回長井マラソンにあわせた JICAブース出展、タンザニア写真展の開催

2018年10月20日～21日

JICA東北は、第32回長井マラソンの開催（2018年10月21日）の前日及び当日、同マラソンのスタート・ゴールの会場となった同市置賜生涯学習プラザでタンザニア写真展を開催しました。JICAが共催したタンザニア初の女子陸上競技大会「Ladies First」の様子やJICAタンザニア事務所広報大使で往年の名マラソンランナーであるイカンガー氏の勇姿、タンザニアにおける青年海外協力隊の活動風景などを展示しました。

また写真展の横にJICAブースも出展し、スポーツと開発やJICAのアフリカ協力などの資料を配布。さらにはタンザニアの青年海外協力隊が支援する女性団体が作った民芸品も販売も行いました（ほぼ完売）。JICAブースでは、「タンザニアの若者にランニングウェアを贈ろう！プロジェクト」として、ランニングウェアの寄付を受け付けマラソン参加者や市民から多くの寄付をいただきました。これらのウェアはタンザニア選手団が持ち帰り、陸上競技を志す若者に活用いただきます。

～活動や目指す成果～

(1) ホストタウン自治体と相手国とのスポーツ交流の強化

第32回長井マラソンには、イカンガーさんを団長に、選手8名、競技団体・政府関係者6名、計15名の選手団が参加します。東京オリパラに向け、タンザニアのホストタウンである長井市はスポーツ交流の強化の一環として選手団を招へいしました。JICAは、長井市民のタンザニアに対する認知度を高め、マラソン大会に向けた雰囲気盛り上げるため、本写真展及びブース出展を行いました。